

「全ては予め決定されているのか？」

2015年2月21日(土)

会場：Cucina & Bar Kappas (表参道)

参加：13名

司会・文責：堀越

1. 概要：

- ・全ては予め決定されているのか？ そうでないとしたら？ 新規参加者2名を含む総勢13名で、決めること、その主体は誰か（何か）をキーに、「自分で決める」とはどういうことを考え、対話しました。

2. 対話：

(0) テーマについて

- ・昨年12月の例会時に提起された「因果律（何かの原因によって何らかの結果＝事象がある）を認めるか？」という問いに端を発し、「全ては予め決定されているのか？」という問いを考えたいと提起した。

(1) 「決定」とは？

- ・決定というと、誰（＝何）かが決めているはずだが、それは自分ではないか。
- ・自分で決めた場合と、よく分からないが無意識に決めた場合がありそうだが、無意識の場合でも自分で決めたと言って良さそうである。
- ・「決まる」、「決める」、さらには「決めさせられている」は、それぞれ異なるのではないか。「決める」は主体が自分だが、「決まる」は主体が何か超越的存在（例：神）が決める印象がある。「決めさせられる」は主体がそういうものとは異なり、外的な条件か何かによって決まっていく印象である。

(2) 「予め」とはどの範囲？

- ・「予め」の範囲を先に決めていったらどうか。制限がなければ、それこそ自然、あるいは宇宙の始まりのビッグバンまで遡ることになり、際限がなくなりはないか。
- 進行役としては、問いを提起した後は、参加者同士が自由に考えたい方向や範囲を各自が表明しながら対話を進めて欲しいので、制限を設けるつもりはない。どんな論点を考えたいか自由に話をして欲しい。
- ・ビッグバンまで遡ると、（ビッグバンがなぜ起こったかという問いを別にして）以降は現在の自然法則によって全ての事象・出来事が原因→結果と決定され続けていると考えられるが、同意できるか？

(3) この場に参加者が集まったのは、誰が決めたことなのか？

- ・進行役から下記の問いを提起した：「今日この場に参加者一人ひとりが集まったのは、誰あるいは何が決めたということか？」
- ・例えば、アイディアXとしては、徹頭徹尾自分が決めて、申し込みのメールを送信して、今日この場に集まったということが言える。一方アイディアYは、自分の意思とは別に外的条件として、a) 今日休日で時間があり、b) 誰かととても話をしたくて、c) 今日この会の問いが普段から考えて興味のあるものである等々と、複数の理由があってメール送信ボタンを押したので、自分で決めたというよりも、何かに決めさせられたということもできる。
- 上のように、周り（＝外的条件）によって決められたことと言える場合でも、「この場にいるのは私の決断」であると思う。

(4) 嫌な部署へ異動させられたときの思考実験について

- ・例えば、（思考実験として）次の例を挙げて考えてみたい：会社勤めをする中で、（自分の意思とは全く関係ないところで決められた）異動を言い渡され、その後にその部署で働き出したとする。その部署はそれまで自分がやりたいと思っていたこととは全く異なり、またその部署の上司や同僚は嫌なタイプの人ばかりでそうも馴染めず、自分にとって嫌な職場という印象を持ったとする。その際に、二つの態度が考えられる：イ) 到底馴染める部署ではなく、これは自分の選択ではなくて、他人達による選択であるとする態度ロ) 辞める選択をしなかった以上、誰の決定かはさておき、受け入れると腹を括る決断をする態度
- ・この場合の差は何によって決まるのか？
- この差はその個人の「心持ち」で決まるとしか言えないのではないか。

(5) 異動させられたときの思考実験における追加条件について

- ・(4)の思考実験で、嫌という気持ちを解消できずに自殺したら、その行為を決めたのは誰と考えるのか？
- Pさん：精神的に追い込まれたという事情はあるが、やはり最後は自分で決めたと思うのではないか。
- Qさん：この場合で、「本人が決めた」と考えることに違和感がある。自分が決めたというよりも、外的環境・条件から追い込まれたという印象がある。
- Rさん：同じような意見だが、異動から自殺まで（会社を辞めるという選択肢があったかもしれないが）何も決めてはいない、と考える。

(6) 自由意志の判断基準について

- ・自由意志での決断かどうかを判断するには、基準が要る。例えば、「社会的責任」が伴うかどうか等。
- ・腑に落ちる自分100%による選択と言い切れる場合はあるのか？ できないのではないか。
- 1,000円ケーキセット（含：珈琲・紅茶のみ）に対し、マテ茶がどうしても飲みたいから、追加料金を支払う判断をすれば、対価を支払うことは判断に負荷がかかっているの、100%自分の決断と考える。

(7) 社会的な視点から

- ・アインシュタインが相対性理論を発見し、そこから発展して原爆の発明へとつながった。他の科学者であったかもしれないが、科学理論（例：相対性理論）のある時期の発見は必然であるとは言えないか？

3. まとめ：

- ・自然法則では決まらない例として「自分で決める」とはどういうことか？から、最後は歴史的・社会的な見方まで思考が拡大した。
- ・閉会後に2項(4)の分岐イ) かロ) を決めるのは自由意志か？と疑問が湧いたが、機会をまた設けて対話したい。